



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2022年 9月26日朝刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

常設展示が始まったシラスウナギ
清水町の幼魚水族館



清水町の大型商業施設サントムーン柿田川内にある幼魚水族館でこのほど、絶滅危惧種に指定されているニホンウナギの稚魚シラスウナギの常設展示が始まった。同館によると、シラスウナギを常設で展示するのは県内で初めてという。

国立研究開発法人「水産研究・教育機構」の増養殖研究所南伊豆庁舎（南伊豆町）で4月ごろにふ化した個体を譲り受けた。体長6センチほどの10匹を水槽で公開している。稚魚特有の透명한体は、徐々にウナギらしい体色へと変わっていくとい

シラスウナギ常設展示 清水町、県内初「一生を見せたい」

国立研究開発法人

「水産研究・教育機構」の増養殖研究所南伊豆庁舎（南伊豆町）で4月ごろにふ化した個体を譲り受けた。体長6センチほどの10匹を水槽で公開している。稚魚特有の透명한体は、徐々にウナギらしい体色へと変わっていくとい

（東部総局・山川侑哉）

①ニホンウナギは何に指定されている生き物ですか。

()

②展示が始まったシラスウナギの体長はどのくらいありますか。また、どんな特徴がありますか。

体長()

特徴()

③シラスウナギを展示する目的は何ですか。記事の内容から考えて50字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／理科、総合)

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

常設展示が始まったシラスウナギ
清水町の幼魚水族館



清水町の大型商業施設サントムーン柿田川内にある幼魚水族館でこのほど、絶滅危惧種に指定されているニホンウナギの稚魚シラスウナギの常設展示が始まった。同館によると、シラスウナギを常設で展示するのは県内で初めてという。

国立研究開発法人「水産研究・教育機構」の増養殖研究所南伊豆庁舎（南伊豆町）で4月ごろにふ化した個体を譲り受けた。体長6センチほどの10匹を水槽で公開している。稚魚特有の透明な体は、徐々にウナギらしい体色へと変わっていくとい

シラスウナギ常設展示 清水町、県内初「一生を見せたい」

国立研究開発法人

「水産研究・教育機構」の増養殖研究所南伊豆庁舎（南伊豆町）で4月ごろにふ化した個体を譲り受けた。体長6センチほどの10匹を水槽で公開している。稚魚特有の透明な体は、徐々にウナギらしい体色へと変わっていくとい

（東部総局・山川侑哉）

①ニホンウナギは何に指定されている生き物ですか。

(絶滅危惧種)

②展示が始まったシラスウナギの体長はどのくらいありますか。また、どんな特徴がありますか。

体長(6センチほど)

特徴((例) 稚魚特有の透明な体をしており、徐々にウナギらしい体色へと変わっていく。)

③シラスウナギを展示する目的は何ですか。記事の内容から考えて50字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

ウ	ナ	ギ	の	一	生	を	見	せ	ら
れ	る	展	示	の	場	に	す	る	こ
と	で、		関	心	を	高	め	て	も
ら	い、		絶	滅	を	防	ご	う	と
す	る	目	的	。					

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／理科、総合)

年 組 名前